

## ～ かんきつ類の黒点病防除を徹底しましょう ～

## 7月上旬の豪雨により、かんきつ類に黒点病が発生しやすくなっています。

- (1) 気象庁のアメダスデータによると、尾道市瀬戸田町(生口島)、呉市蒲刈町、竹原市の降水量は、7月2半旬には瀬戸田町で327mm、蒲刈町で421mm、竹原市で359mmと、平年の7月1ヶ月分の1.7～2倍程度の降水量でした(表1)。

表1 6月第1半旬～7月第2半旬までの半旬別降水量(mm)

月/半旬	尾道市瀬戸田町		呉市蒲刈町		竹原市	
	本年	平年	本年	平均*	本年	平年
6/1	13	17	24	23	20	19
2	16	15	26	19	32	16
3	9	16	11	32	16	17
4	60	20	76	65	49	23
5	1	30	2	54	2	36
6	14	42	28	53	40	50
7/1	71	47	97	71	107	55
2	327	40	421	51	359	47

\*蒲刈は過去9年の平均値

- (2) 黒点病の防除は、殺菌剤の予防的散布がポイントとなります。なお、殺菌剤の有効成分は、降雨があるたびに流亡し、次第に効果が低下します。殺菌剤の効果が低下する降水量の目安は、**前回の防除以降の積算で250mm**といわれています。
- (3) 7月第2半旬の降水量は、各地とも250mmを大幅に超えており、前回防除した薬剤の効果はすでにかかなり低下していると考えられます。
- (4) 今後一か月の降水量は、「少ない」もしくは「平年並」の確立が40%と予報されていますが、地域によっては夕立などの降雨が予報されており、注意が必要です。

## 降雨前の防除が黒点病の防除に有効です

- (1) 黒点病菌は水を介して感染します。このため降雨前に黒点病防除を行いましょう。
- (2) 果実全体に薬液が付着するよう、十分な量を散布しましょう。
- (3) 感染源は剪定枝や枯れ枝などにあります。剪定枝や枯れ枝は、ほ場外に持ち出すようにしましょう。
- (4) 薬剤散布については、農薬使用基準(使用量、希釈倍率、使用時間、使用回数等)を遵守するとともに、周辺作物への飛散防止対策を徹底しましょう。
- (5) なお、最新の農薬情報は、農林水産省ホームページ「農薬コーナー」の「農薬登録情報検索システム(<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm001.html>)」を参照してください。

## ● お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム

東広島市八本松町原 6869

TEL: 082-420-9662 (直通)

広島県ホームページ(植物防疫)

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/syokubou-t.html>)



広島県 植物防疫

検索

